

## 国際熱測定会議 (ICTAC2016) 報告

国際熱測定連合 (International Confederation for Thermal Analysis and Calorimetry, ICTAC) の第 16 回国際会議 (ICTAC2016) が 2016 年 8 月 14-19 日に米国フロリダ州 Walt Disney World Swan Hotel において開催された。この会議は 4 年に一度開かれる、熱測定分野では最も大きい会議であり、近畿大学で開催された前回の会議は記憶に新しい。今回は北米熱測定学会 (NATAS) とのジョイントであった。初日はポスターセッションがあり、口頭発表は 2 日目から 5 日間にわたり、4 会場で同時進行する形式で行なわれた。発表数は、ポスター発表 78 件、口頭発表 211 件、総数 289 件であった。セッション名は以下のとおりである。

- Biomaterials, Biopolymers
- Energetic Materials and Thermal Hazards
- Fast Scanning Methods
- Food Technology and Related Areas
- Fuels and Biofuels
- High Temperature Thermal Analysis
- Inorganic Materials, Geochemistry and Ceramics
- Instrumentation and Methods
- Kinetics
- Lifetime Prediction
- Materials Processing
- Personal Care
- Pharmaceuticals
- Polymer Phase Transformation
- Polymer Stability, Degradation and Flammability
- Process Safety
- Rheology and Viscoelasticity
- Standards, Regulations and Reference Materials
- Thermal Transport and Electrical Properties
- Thermoelectric Properties
- Glasses, Thermosets and Nanoconfinement
- Natural Products

22 のセッションが設けられ、セッション名から熱分析のニーズが広範囲の研究分野に及んでいることが理解できる。特に発表件数が多かったのは、Kinetics と Energetic Materials and Thermal Hazards であり、数日間のセッション構成となっており、関心の高さを感じた。

初日は、夕方に Welcome reception とポスターセッションがあり、軽食を食べながら、和やかな雰囲気での会議が開始された。

2 日目と 3 日目は終日発表があり、3 日目の夕方に ICTAC の Business meeting が行なわれた。2016-2020 年の役員報告があり、本学会からの今期役員は、Vice President, Affiliate Councilor として古賀信吉先生 (広島大院), Executive Councilor (Membership Secretary) として森川淳子先生 (東工大院), Scientific Award Committee Chair として小椋理子先生 (湘北短大) が任命された。また Scientific committee の再編成があり、現在 14 ある committee を、Kinetics and Reactivity of Solids, Thermodynamics and Calorimetry, Materials, Instruments and Methods, Nomenclature and Standardization, Education の 6 つに統合することが提案された。Nomenclature and Standardization Committee については、阿部 (産総研) が Co-chair を担当することになった。

4 日目は午前中のみでの発表で、午後は自由時間となり、参加者のほとんどは、観光やショッピングを楽しんだようであった。夜には「Event and Gala」として会場内のホール

にて生バンドの演奏が行なわれた。会場の外にもテーブルが用意され、参加者は開放感がある雰囲気での懇談を楽しんだ。

5 日目は、メトラー・トレド社がスポンサーである NATAS Award in Thermal Analysis を受賞された戸田昭彦先生 (広島大院) の受賞講演が行なわれた。題目は「Melting Kinetics of Polymer Crystals Examined by Fast-scan DSC」で、約 1 時間の貴重なご講演をいただいた。夜は会場のホールにおいて Award Banquet が開催された。次々と ICTAC Award が発表される中、古賀信吉先生と共著の山田秀人先生 (防衛大)・池田浩人先生 (福岡大葉) らが、「Multistep Kinetic Features of Thermal Degradation of Poly(Lactic Acid) Oligomer」という題目の発表で、ICTAC2016 Poster Award を受賞された。

6 日目の午前中も、各セッションでも活発な議論がなされ、6 日間にわたる会議は閉会となった。



会場となった Walt Disney World Swan Hotel.



Award Banquet の様子.

次回 2020 年の ICTAC は、2020 年 9 月 4 日から、ポーランドのクラクフにて開催予定である。今回の会議では、NATAS Award や Poster Award の受賞、ICTAC 役員就任など、本会員の活躍が多く見受けられた。さらに日本人の発表数も 43 件 (ポスター発表 21 件、口頭発表 22 件) あり、全体の発表数の 15% を占めたことから、熱測定分野での日本の存在感は十分アピールされていたと感じている。次回の ICTAC も、是非多くの日本の方々にご参加いただきたい。

(産業技術総合研究所 阿部 陽香)